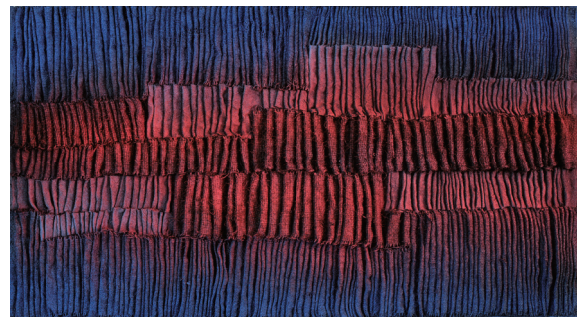


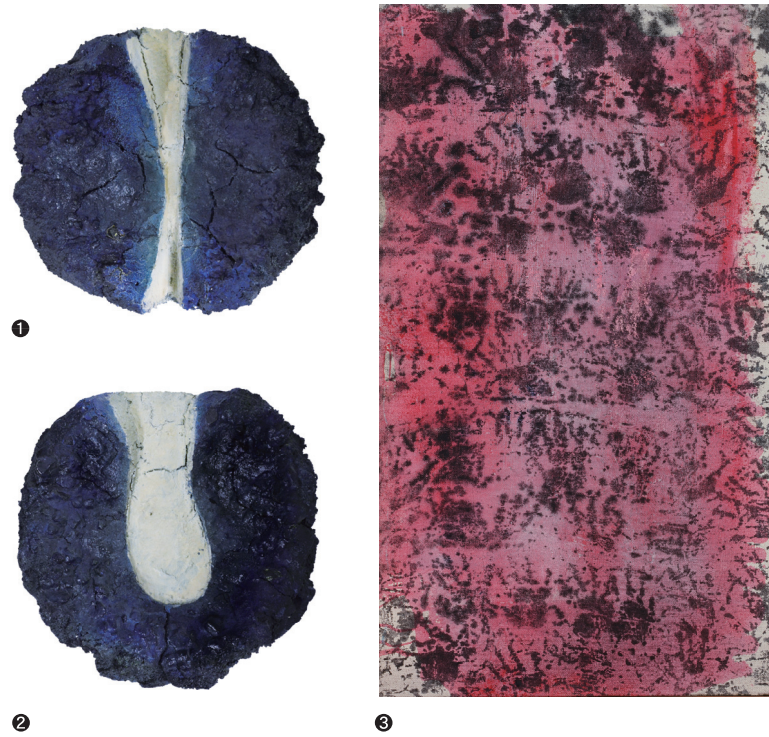
豊中市ゆかりの美術家によって、戦後の現代アートの軌跡をたどる

～パンリアルの前衛美術に賭けた日々、あらためて絵画とは何かを問うたGe展への軌跡をたどって～

戦後日本画の革新をめざして、京都に生まれた前衛美術グループ、パンリアル美術協会を舞台に活躍し、その後Ge展に舞台を移した現代美術家 湯田寛と木村嘉子。どちらも豊中市に深いゆかりのある、ふたり。豊中市所蔵の湯田作品、大阪府所蔵の木村作品に加えて、京都の星野画廊、個人蔵の作品も加えた約70点を展示して1950年代末のパンリアル時代の出品作品からGe展への出品作品まで系統的に紹介します。



①



②

カオスへの挑戦から幾何学的抽象へ—廃棄された初期アンフォルメル作品の幻を追って(湯田寛)

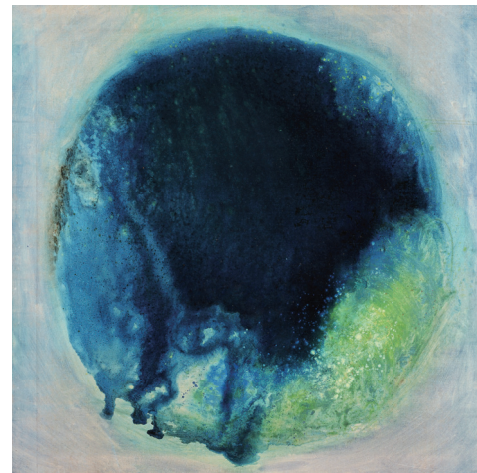
初期の具象画を経て、アンフォルメル風の抽象絵画に展開。木材を挽いたときに生まれる、挽き粉をボンドで固めた円形の作品やドンゴロスの布を波状にして髪形の作品を制作。その後は幾何学的な抽象絵画の世界へと向かいました。前半期の作品の多くは湯田本人によって廃棄されましたが、残された図版や作品によって、その画業をしのぶことができます。

1940～60年頃には豊中市桜塚に在住。豊中市美術展で第4回～30回展まで日本画部門の審査員を務めています。また、豊中市立中学校の教諭として、第1中、2中、5中、教頭として第11中に、校長としては第10中、15中に勤務していました。

生きること、それは変化することである—アンフォルメルからネコプリントへの軌跡(木村嘉子)

1957年の第15回のパンリアル展に洋画家として初めて参加。アンフォルメル風の抽象絵画の出品を手掛け、その後は紙粘土を用いて娘の名を題名とした作品を制作。そこから手形の作品、丸のシリーズ、マジックインクによる線描作品を経て、73年には写真映像を独自の技術で処理したネコプリント技法の作品へと展開しました。85年の第43回展の退会まで出品を続けています。

木村は69年に豊中市に移住し、現在も在住。豊中市美術協会に参加し、豊中市美術展にも出品しています。現在は神戸海星女子学院短期大学名誉教授となっています。



⑤

① 湯田寛「作品1」1964年頃 ② 湯田寛「作品2」1964年頃 ※①②は個人蔵 ③ 木村嘉子「作品4(赤・黒)」1964年 ④ 湯田寛「HY1」1966年 ⑤ 木村嘉子「丸の作品(6)」1965年

関連イベント

シンポジウム

「戦後関西の現代美術をふりかえる
パンリアルからGeへの軌跡をたどって」

日 時：8月10日(土) 14:00～16:00

司 会 中塚宏行

(本展キュレーター・大阪府府民文化部文化課 研究員・美術評論家)

鑑賞講座+ギャラリートーク

「わかる? わからない? なぜこうした作品が
生まれたのか? 現代アートへの道」

日 時 ① 8月16日(金) 14:00～15:00

② 8月31日(土) 14:00～15:00

—— ③④はギャラリートークのみ ——

③ 8月23日(金) 14:00～14:30

④ 8月30日(金) 19:00～19:30

※30日は時間を延長して19時30分まで開場します

講 師 中塚宏行

(本展キュレーター・大阪府府民文化部文化課 研究員・美術評論家)

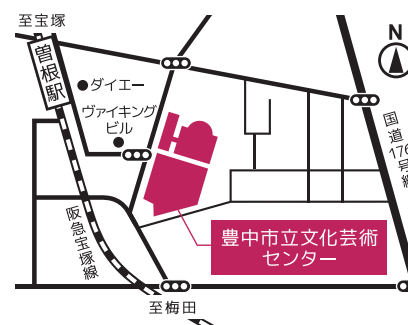
◎対象 中学生以上 *参加無料、①②は要事前申込

鑑賞講座 + ギャラリートーク お申し込み方法 | 応募期間～7月25日(木)まで

往復はがきからお申込

往信宛名面に、「〒561-8501(住所不要) 豊中市都市
活力部文化芸術課所蔵作品展係」を、往信の裏面には①
参加者全員の氏名 ②電話番号 ③年齢 ④参加希望日時を
ご記入ください。合わせて返信宛名面に返信先のご住所、
氏名を記入してお送りください。

※7月25日必着 ※当選の方へは、当選通知をもって発表に代えさせていただきます ※当選通知は開催の一週間前までにお届けいたします
※応募者多数の場合は抽選とさせていただきます



問い合わせ先

展示会場

アクセス

豊中市文化芸術課 TEL:06-6858-2551

豊中市立文化芸術センター 大阪府豊中市曾根東町3-7-2

阪急宝塚線「曾根」駅下車 ※地下に有料駐車場もございますが、
東へ約300メートル徒歩約5分 数に限りがありますので、なるべく
公共交通機関をご利用ください

主催：豊中市、豊中市市民ホール指定管理者 協力：大阪府立江之子島文化芸術創造センター

パネ
リスト
篠雅廣 —— (大阪市立美術館長)
中井康之 —— (国立国際美術館学芸課長・副館長)
西山康三郎 —— (画家・元パンリアル会員・Ge会員)
原田平作 —— (大阪大学名誉教授)
持田総章 —— (大阪芸術大学名誉教授)

*参加無料、事前申込不要

ワークショップ【詳細はこちらからご確認ください】

①「展覧会でおどっちゃお！」

日 時 8月17日(土)

① 10:30～11:30 ② 13:30～15:00

定 員 ① 親子15組 ② 15名

講 師 エメ スズキ(ダンサー)

②「いろで遊ぼう みんなで大きな絵をえがこう！」

日 時 8月20日(火)

③ 10:30～11:30 ④ 14:00～15:30

定 員 各10名 講 師 小池一馬(美術家)

◎対象 ① 未就学児親子、②④小学生以上、③ 親と離れて
参加できる未就学児 *参加無料、要事前申込

豊中市所蔵作品展 2019

検索

